

令和3年度 長門市立深川中学校 学校評価アンケート結果(前期)

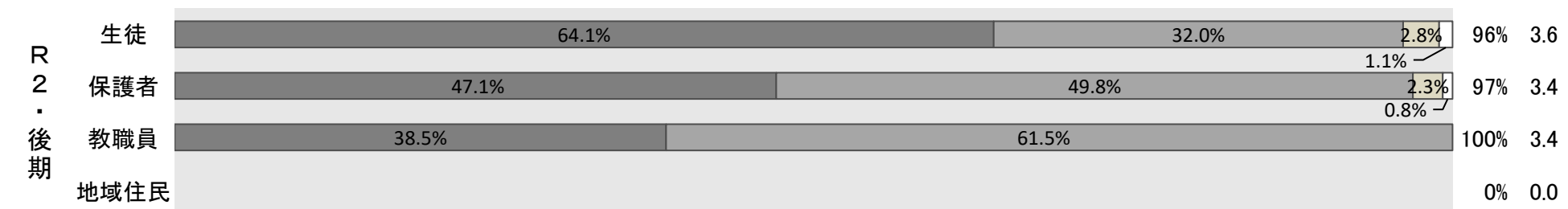
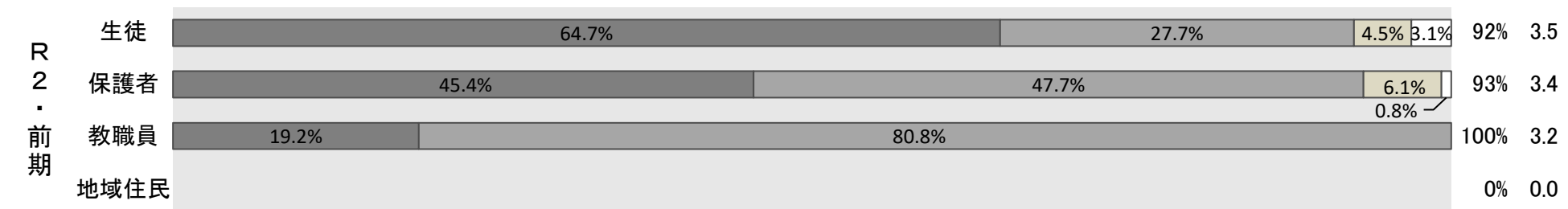
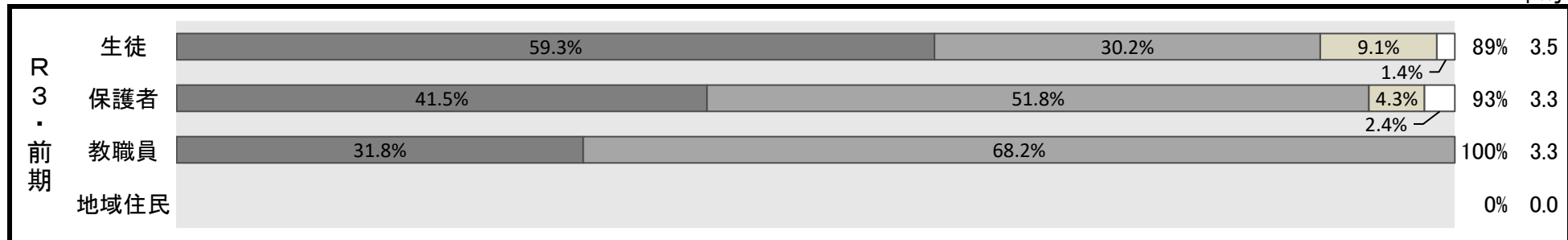
実施時期:令和3年7月

実施対象:全校生徒 285/294名
:全保護者 253/276名
:教職員 23/23名
:地域住民 38名

1	学校が楽しい。	(生徒) 学校が楽しい。 (保護者) お子様は、学校が楽しいと思っている。 (教職員) 生徒は、学校が楽しいと思っている。 (地域住民) 0
---	---------	---

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

考察	<p>最も重要な質問項目である。肯定的回答をした生徒の割合は約9割と高い。一方、否定的回答をした生徒の割合は1割程度おり、特に、「そう思わない」と回答した生徒がいること、また、昨年度と比較し増加していることは課題である。教職員は全生徒を想定して回答しているが、保護者は我が子を想定して回答している。生徒と保護者の否定的回答率に差があり、我が子の「楽しくない」状況を保護者が把握していないケースがあることが懸念される。学校生活の大半を占める授業の一層の充実を図るとともに、生徒理解に努め、保護者との連絡を密にしていきたい。</p>
----	--

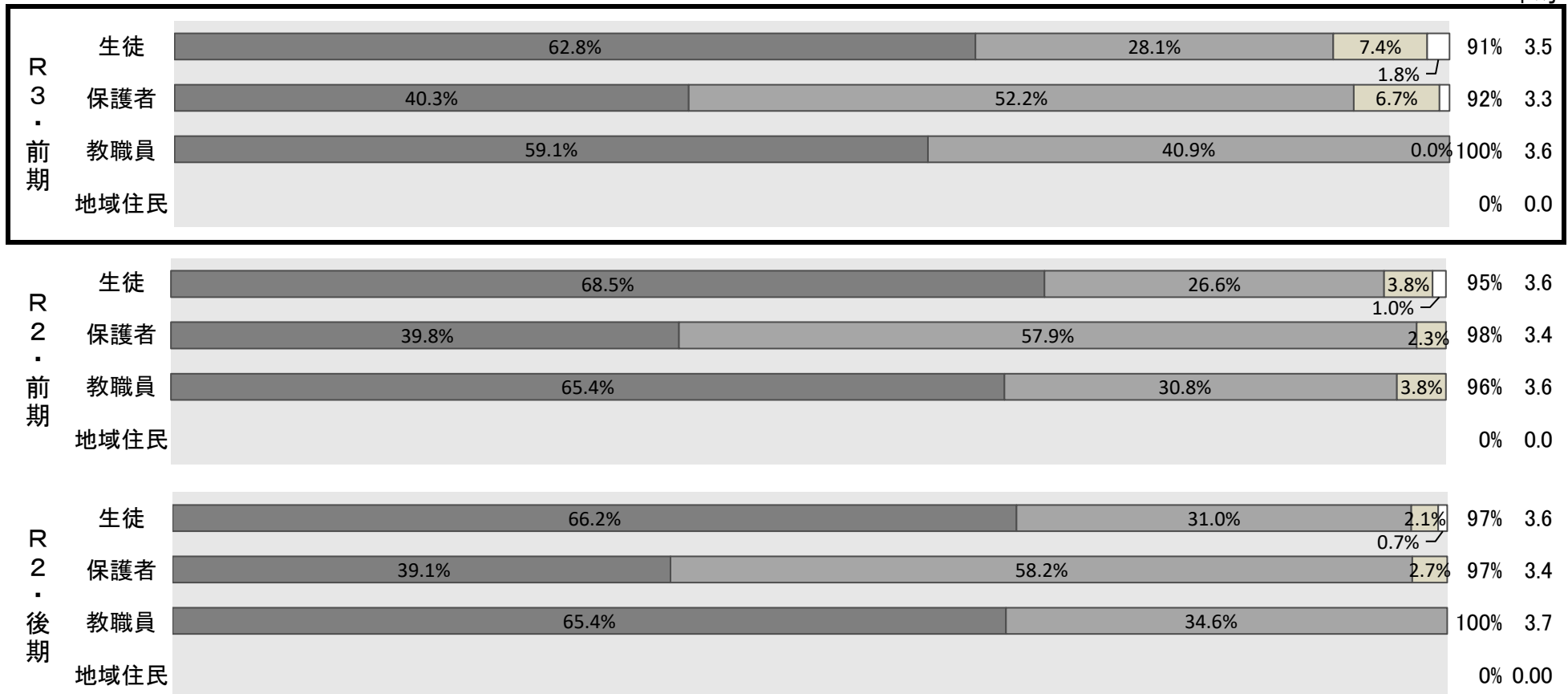
2

先生たちは、心配事を相談した時に、しっかり話を聞くなど親身に
対応してくれると思う。

(生徒) 先生たちは、心配事を相談した時に、しっかり話を聞くなど親身に
対応してくれると思う。
(保護者) 教職員は、お子様心配事を相談した時に、しっかり話を聞くなど親身に
対応してくれていると思う。
(教職員) 本校の教職員は、生徒が心配事を相談した時に、しっかり話を聞くなど親身に
対応していると思う。
(地域住民) 0

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

考察

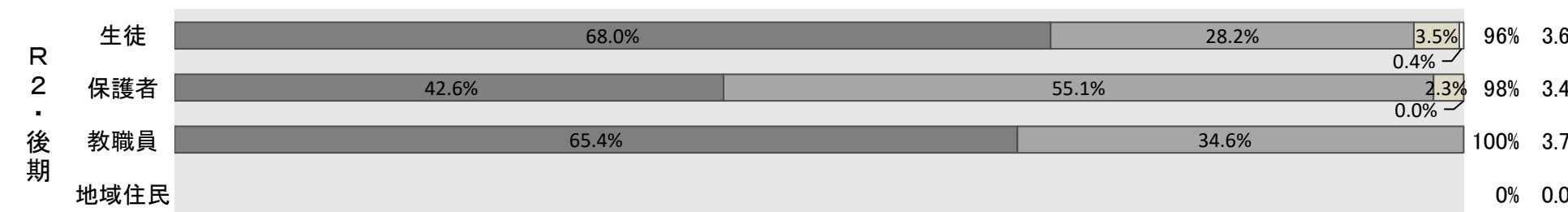
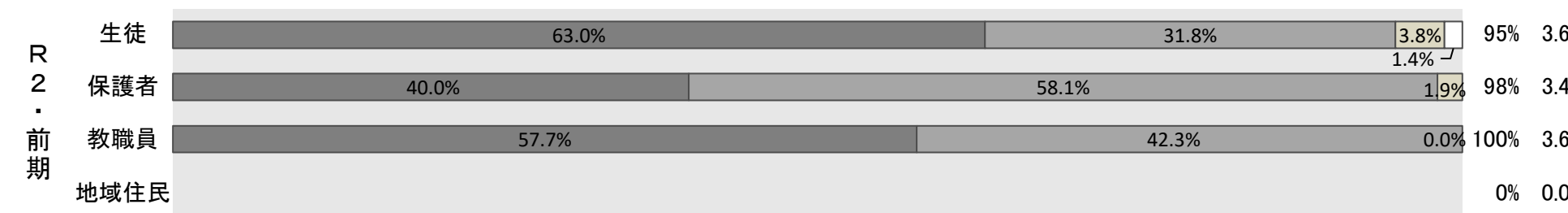
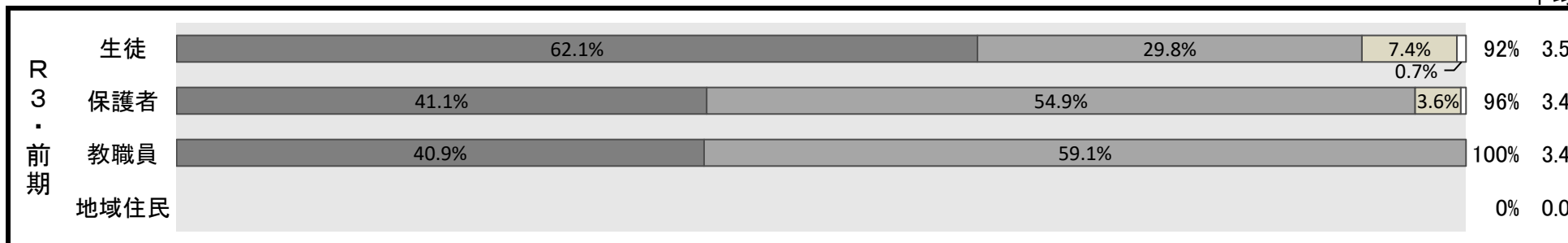
肯定的回答をした生徒の割合は9割以上と高い。一方、昨年度と比較すると減少しており、2%未満ではあるが、「そう思わない」と感じている生徒もいる。今後、教育相談等を実施する中で、肯定的回答をする生徒の割合は増加していくことが予想されるものの、日々の傾聴と共感の姿勢を一層大切にしたい。

3 先生たちは、あなたのよいところを認めてくれていると思う。

(生徒) 先生たちは、あなたのよいところを認めてくれていると思う。
 (保護者) 教職員は、お子様のよいところを認めてくれていると思う。
 (教職員) 本校の教職員は、生徒のよいところを認めていると思う。
 (地域住民) 0

■4 そう思う ■3 だいたいそう思う ■2 あまりそう思わない □1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

考察

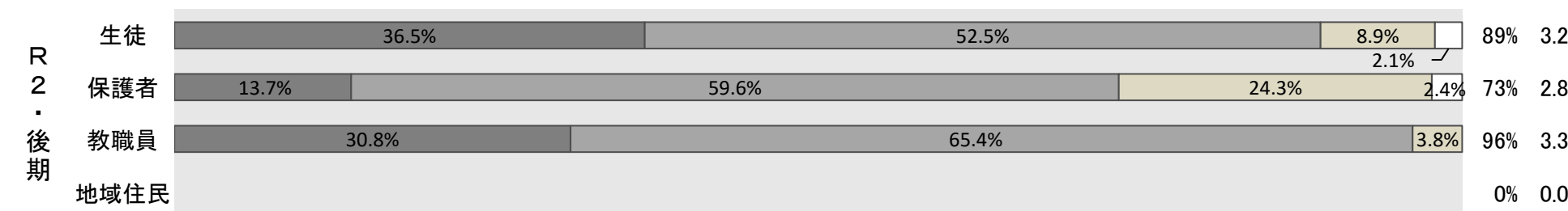
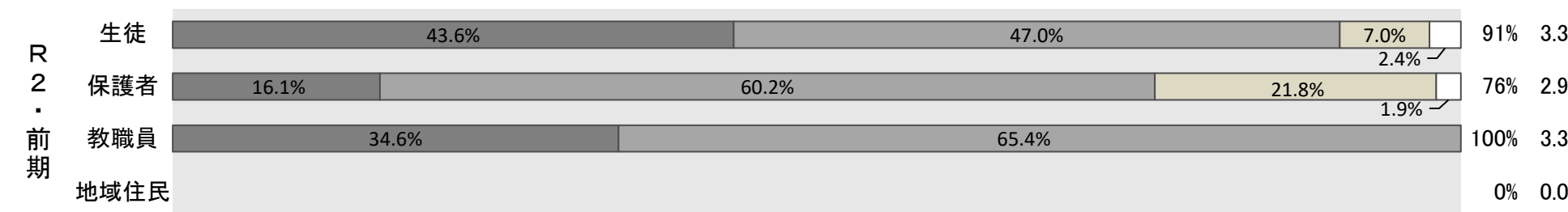
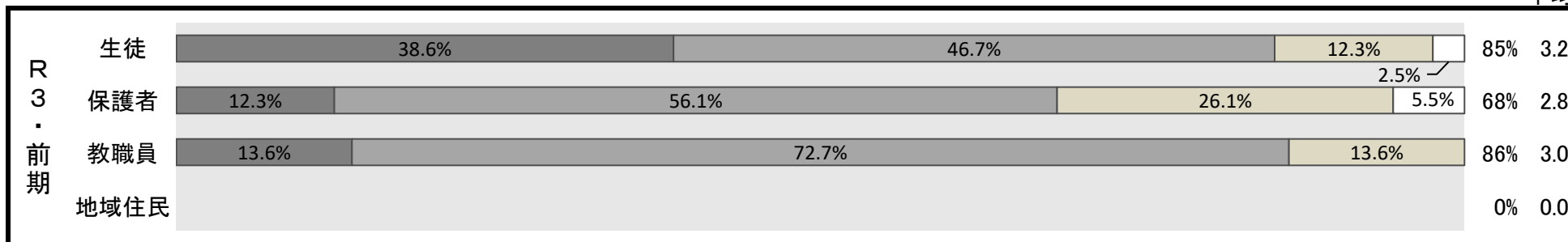
肯定的回答をした生徒の割合は9割以上と高い。日頃から、「生徒一人ひとりの良いところをみていこう」という姿勢を大切にしている成果と考える。一方、昨年度との比較で肯定的回答をした生徒の割合が減少していること、「そう思わない」と回答した生徒がいることを真摯に受け止め、一層、こういった姿勢を大切にしていく必要がある。

4 あなたは、授業内容がよく分かり、意欲的に取り組むことができる。

(生徒) あなたは、授業内容がよく分かり、意欲的に取り組むことができる。
 (保護者) お子様は、授業内容がよく分かると言っている。
 (教職員) 生徒は、授業のねらいを理解し意欲的に取り組んでいる。
 (地域住民) 0

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

考察

肯定的回答をした生徒の割合は8割を超えているものの、昨年度と比較すると減少傾向にある。生徒は、グループ学習(話し合い学習)について、「わかる実感を得るために必要な学習形態」と認識していることがアンケートから分かっている。コロナ禍において、グループ学習を制限してきたこともポイント減少の一因と考える。引き続き、感染症対策を講じつつ、グループ学習に取り組んでいくとともに、ICTを活用した新たな形での協働学習に取り組んでいく。

5

授業では、グループで話し合いながら問題を解決したり理解を深めたりする学習活動に積極的に取り組んでいると思う。

(生徒) 授業では、グループで話し合いながら問題を解決したり理解を深めたりする学習活動に積極的に取り組んでいると思う。

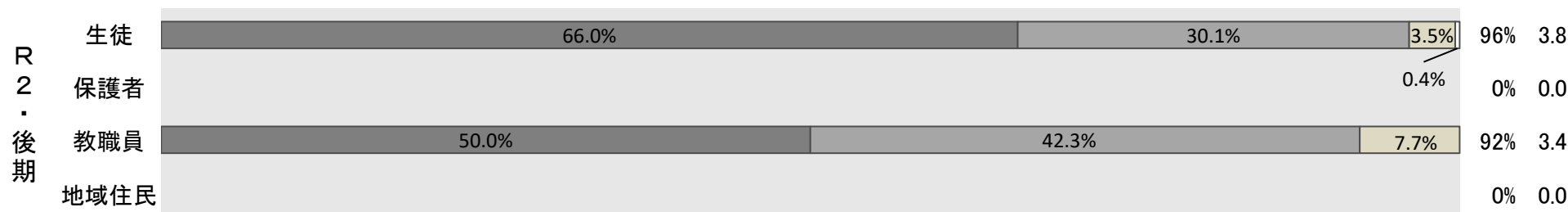
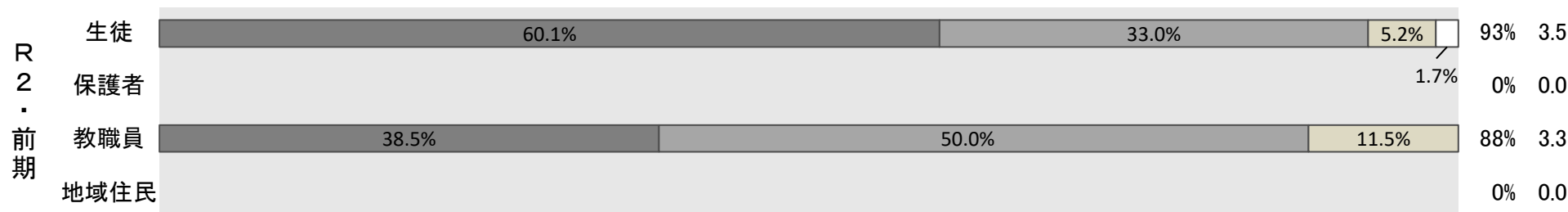
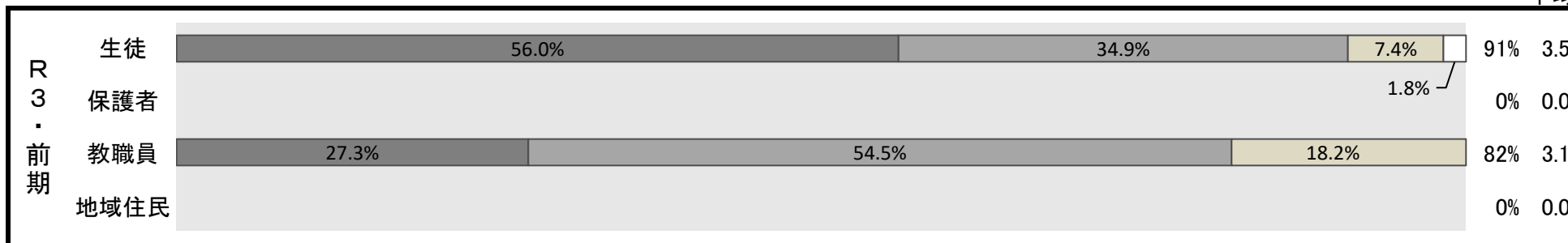
(保護者) 0

(教職員) 生徒は、グループで話し合いながら問題を解決したり、理解を深めたりする学習活動に積極的に取り組んでいると思う。

(地域住民) 0

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

考察

肯定的回答をした生徒の割合は9割以上と高い。一方、昨年度と比較すると減少している。感染症対策の一環として、授業におけるグループ学習(話し合い学習)を制限していることが影響していると考えられる。引き続き、感染症対策を講じつつ、グループ学習に取り組んでいくとともに、ICTを活用した新たな形での協働学習に取り組んでいく。

6

授業では、相手の言うことをしっかり聞くとともに、自分の考えを伝えることができていると思う。

(生徒) 授業では、相手の言うことをしっかり聞くとともに、自分の考えを伝えることができていると思う。

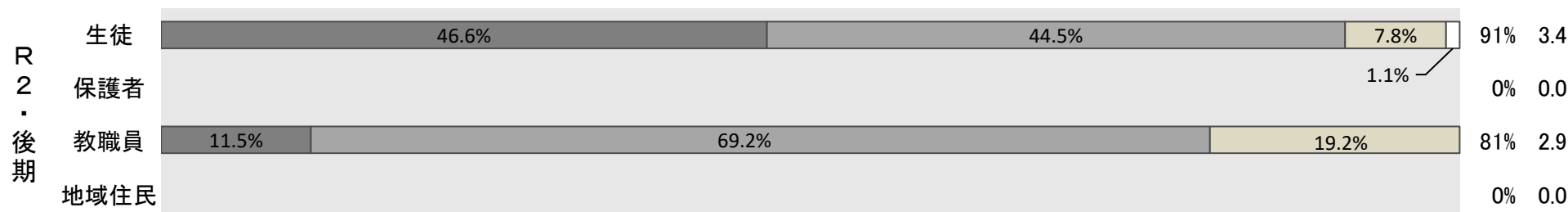
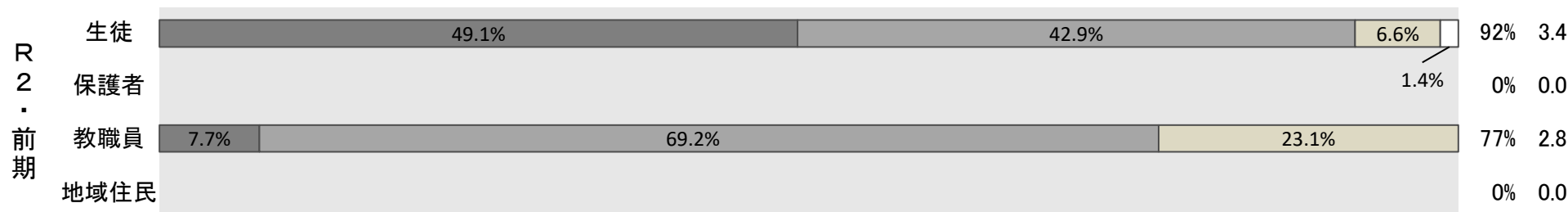
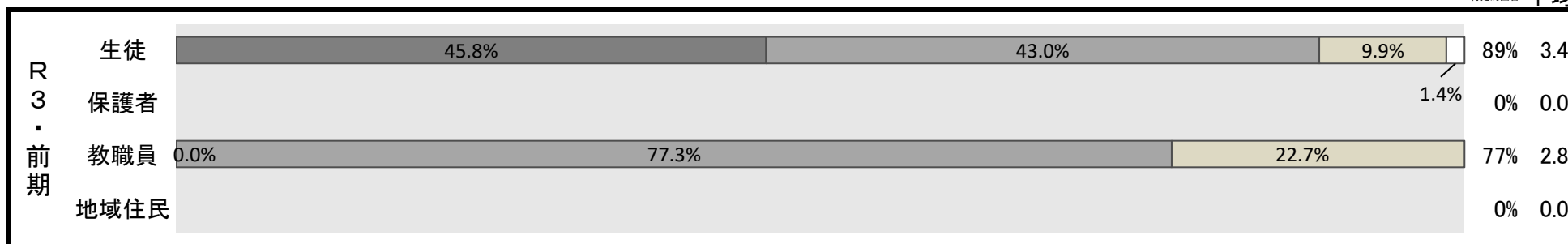
(保護者) 0

(教職員) 生徒は、授業で相手の言うことをしっかり聞くとともに、自分の考えを伝えることができていると思う。

(地域住民) 0

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

考察

肯定的回答をした生徒の割合は約9割と高い。一方、昨年度の結果と比較すると、わずかではあるが減少傾向にある。感染症対策の一環として、授業におけるグループ学習(話し合い学習)を制限していることも減少の一因と考える。引き続き、感染症防止対策を講じつつ、グループ学習に取り組んでいく中で、相手の話を聞いたり、自分の考えを発表したりする活動を仕組んでいきたい。

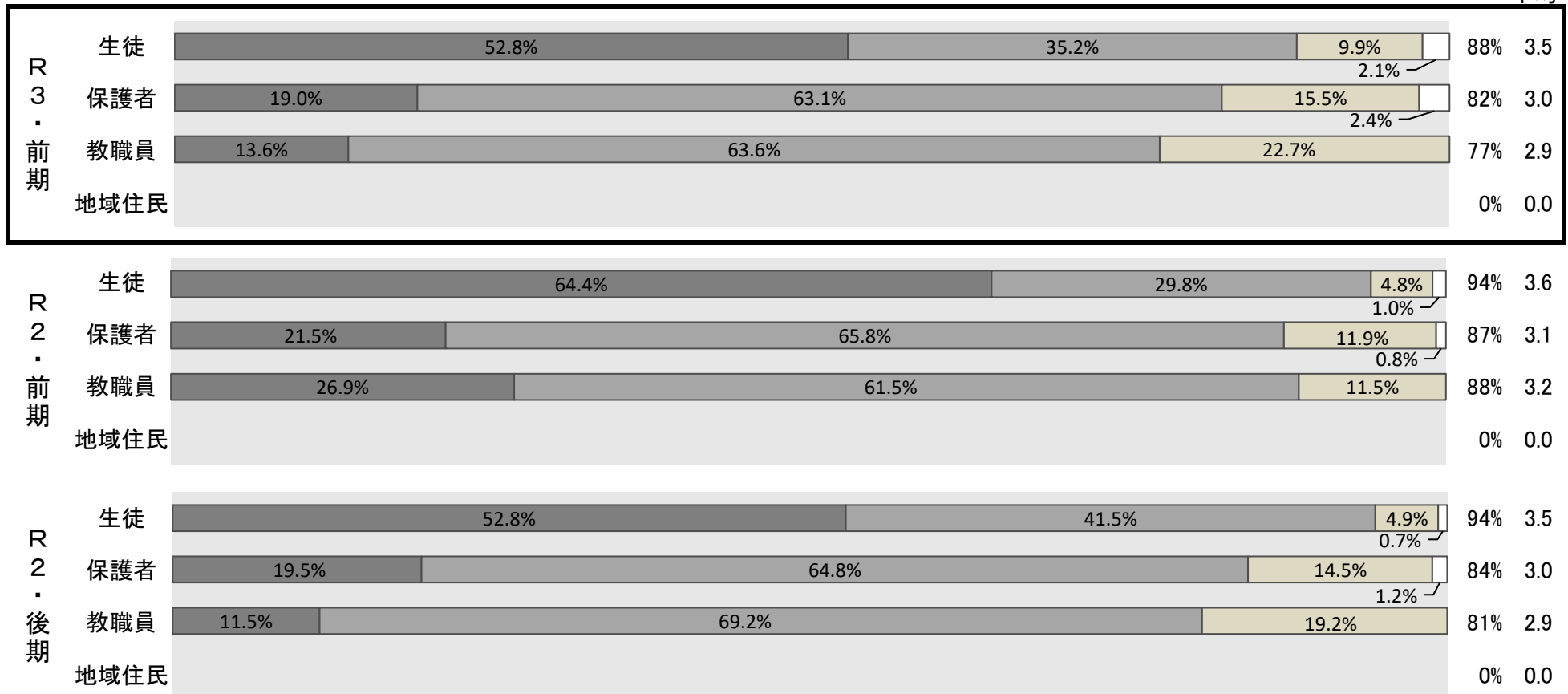
7

先生たちは、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれると思う。

(生徒) 先生たちは、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれると思う。
 (保護者) 教職員は、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、丁寧に教えてくれていると思う。
 (教職員) 本校の教員は、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えている。
 (地域住民) 0

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

考察

肯定的回答をした生徒の割合は9割近いものの、昨年度と比較すると減少傾向にある。質問項目4の「授業がわかる」生徒の割合の減少を受け、本質問項目の肯定的回答をした生徒の割合も減少していることが伺える。生徒の「わかりたい」という気持ちに、一層寄り添う必要がある。授業改善はもちろんのこと、本校が実施している補充学習「キラッと学習講座」の時間の有効活用により課題を解決したい。

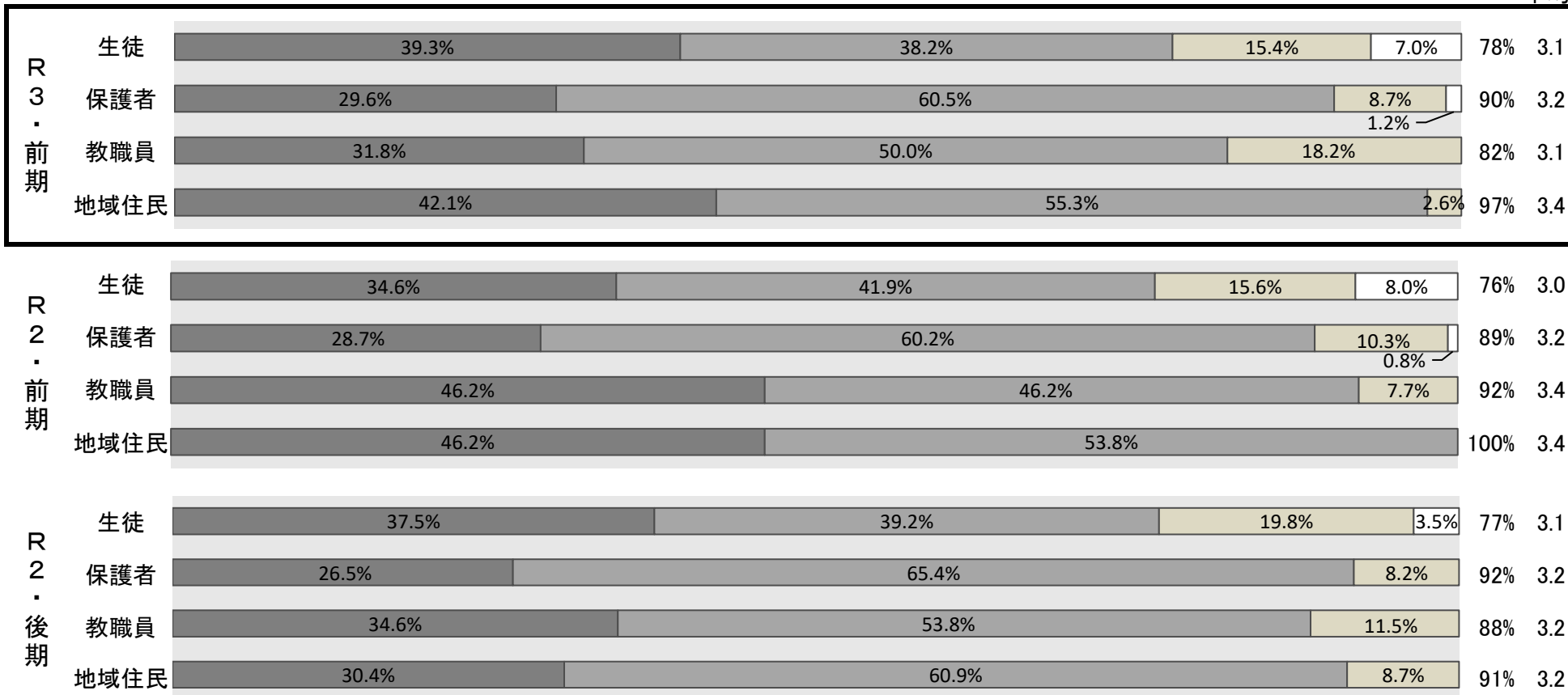
8-1

この学校は、学校全体でいじめゼロに向けて取り組んでおり、いじめや「うざい」などのNGワードが以前よりも減少していると思う。

(生徒) この学校は、学校全体でいじめゼロに向けて取り組んでおり、いじめや「うざい」などのNGワードが以前よりも減少していると思う。
 (保護者) この学校は、学校全体でいじめゼロに向けて取り組んでいると思う。
 (教職員) この学校は、学校全体でいじめゼロに向けて取り組んでおり、いじめや「うざい」などのNGワードが以前よりも減少していると思う。
 (地域住民) この学校は、学校全体でいじめゼロに向けて取り組んでおり、いじめや「うざい」などのNGワードが以前よりも減少していると思う。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



※8-2との違いは、保護者の質問項目(いじめゼロに向けた取組)

前期7月 後期12月

考察

昨年度と比較すると、肯定的回答をした生徒の割合は増加傾向にある。一方、他の質問項目と比較すると、肯定的回答率が78%と低くどまっている。引き続き、道徳科の充実や開発的な生徒指導を推進するとともに、生徒自身に課題意識をもたせるために、生徒会活動で取り上げることにより、改善をめざしたい。あわせて、教職員や保護者など、生徒を見守る立場の大人より、生徒自身の肯定的回答率が低くなっている点も、重要な課題と受け止められる。

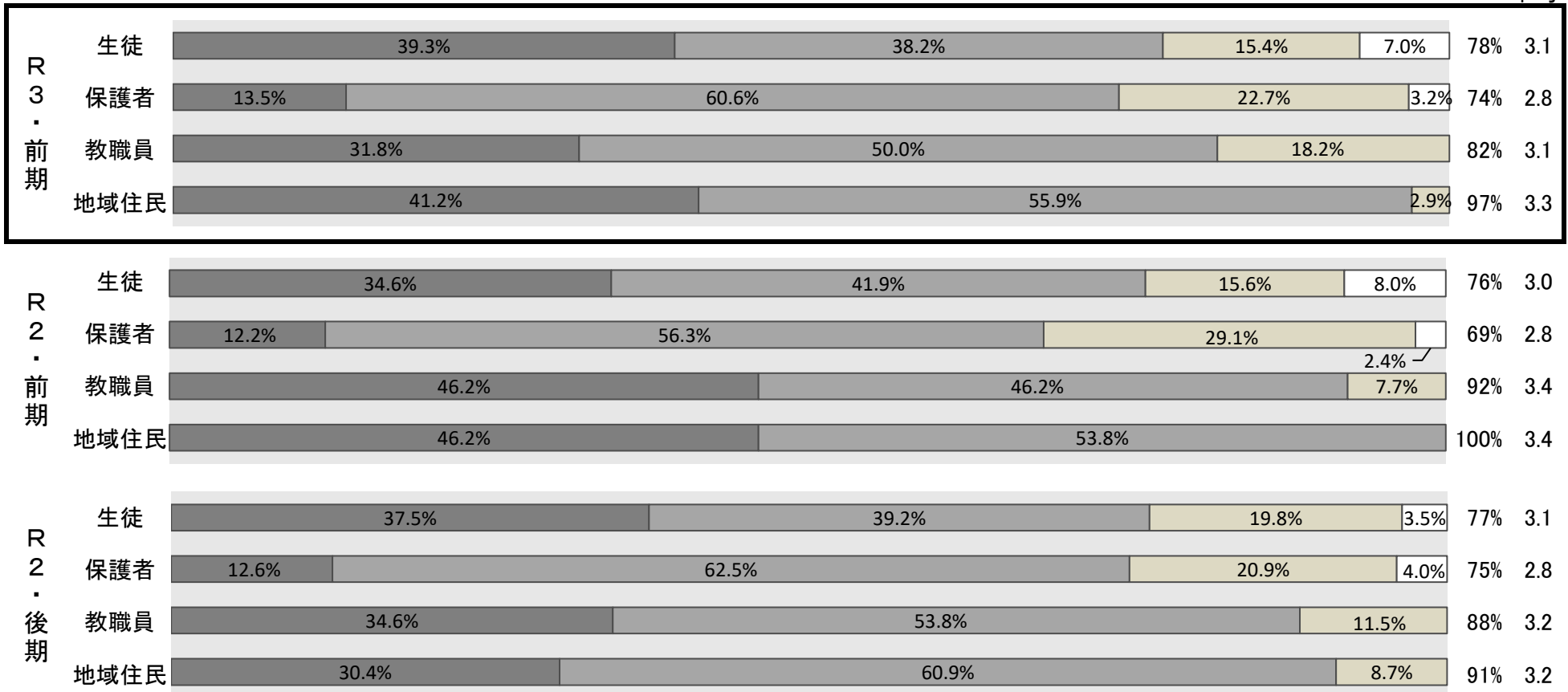
8-2

この学校は、学校全体でいじめゼロに向けて取り組んでおり、いじめや「うざい」などのNGワードが以前よりも減少していると思う。

(生徒) この学校は、学校全体でいじめゼロに向けて取り組んでおり、いじめや「うざい」などのNGワードが以前よりも減少していると思う。
 (保護者) この学校は、いじめや「うざい」などのNGワードが以前よりも減っていると思う。
 (教職員) この学校は、学校全体でいじめゼロに向けて取り組んでおり、いじめや「うざい」などのNGワードが以前よりも減少していると思う。
 (地域住民) この学校は、学校全体でいじめゼロに向けて取り組んでおり、いじめや「うざい」などのNGワードが以前よりも減少していると思う。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



※8-1との違いは、保護者の質問項目(いじめやNGワードの減少)

前期7月 後期12月

考察

8-1との違いは、保護者の質問項目の違いにある。8-1の結果から、いじめに対する学校全体の取組に対し、肯定的回答をした保護者の割合は9割以上と高いが、実際にいじめや「NGワード」が以前より減っているかという質問項目に対しては、昨年度後期の結果と比較すると1ポイント減少している。昨年度の同時期である昨年度前期と比較すると、肯定的回答をした保護者の割合は10ポイント以上増加しているが、他の質問項目と比較すると、肯定的回答率が74%と低くとどまっていることは課題である。

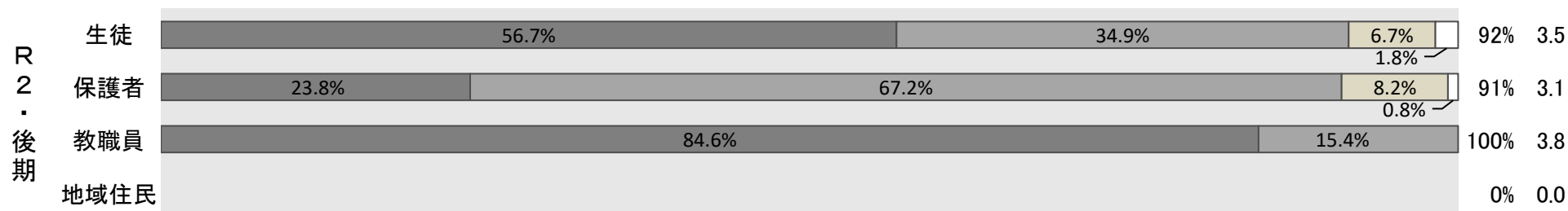
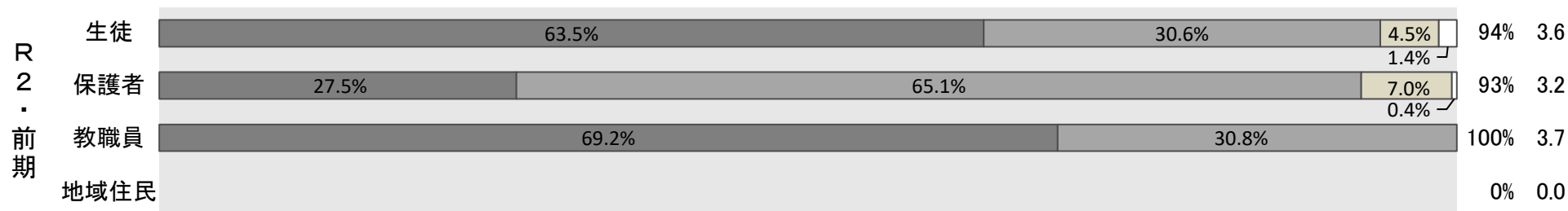
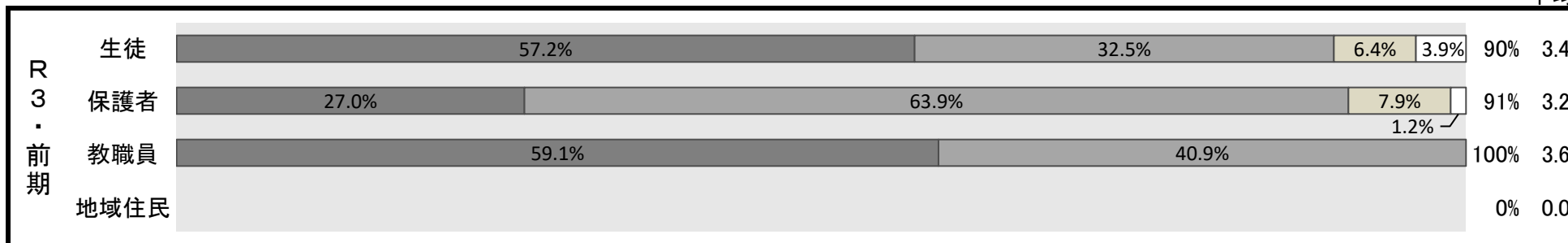
9

先生たちは、いじめで困っている人がいたら、すぐに対応し解決してくれていると思う。

(生徒) 先生たちは、いじめで困っている人がいたら、すぐに対応し解決してくれていると思う。
 (保護者) 教職員は、困っている生徒がいたら、すぐに対応していると思う。
 (教職員) 本校の教員は、いじめで困っている生徒がいたら、すぐに対応し解決している。
 (地域住民) 0

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

考察

肯定的回答をした生徒の割合は9割以上と高い。一方、昨年度と比較すると減少傾向にある。学期が進み、人間関係やSNS等でのやりとりが複雑化・多様化する中、何らかの理由で、「そう思わない」と感じている生徒が一人でもいることを真摯に受け止め、引き続き、日々の生活ノートの記入内容や毎週的生活アンケート、日々の見守り活動や教育相談等から生徒理解に努め、いじめの早期発見に繋げるとともに、その解決に向け、学校・家庭がしっかりと連携し、生徒・保護者の心情に寄り添った対応をしていきたい。

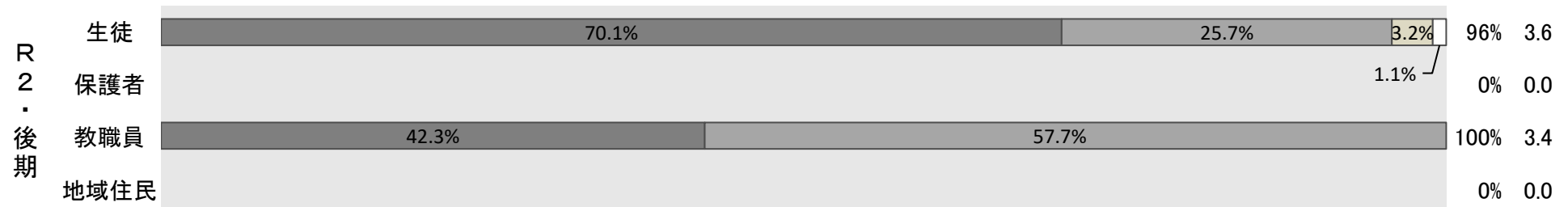
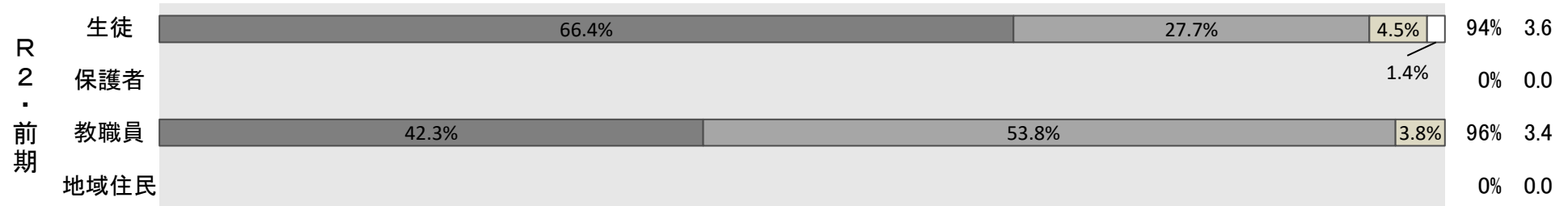
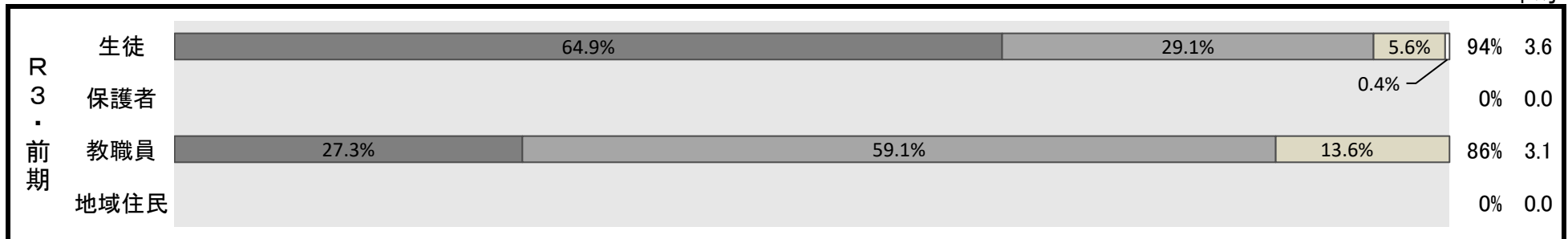
10

あなたは、道徳の授業の中で、友だちの考えに触れ、自分の心と向き合っていると思う。

(生徒) あなたは、道徳の授業の中で、友だちの考えに触れ、自分の心と向き合っていると思う。
 (保護者) 0
 (教職員) 生徒は、道徳の授業の中で、友だち考えに触れ、自分の心と向き合っていると思う。
 (地域住民) 0

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

考察

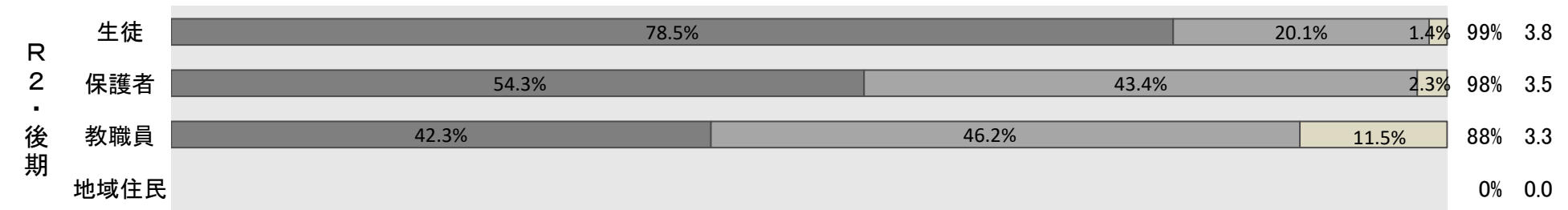
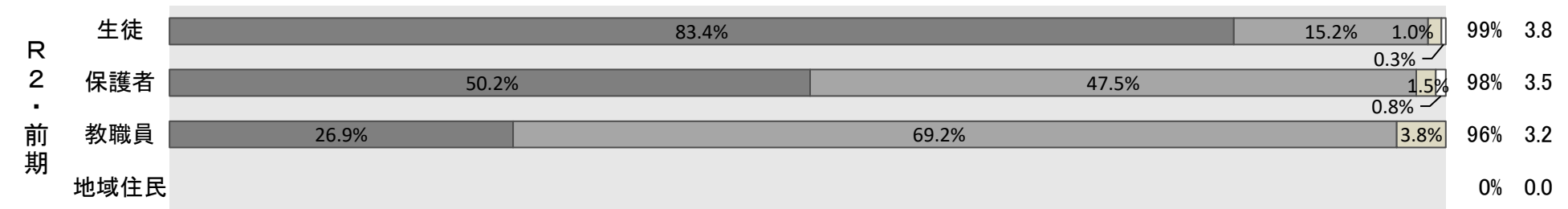
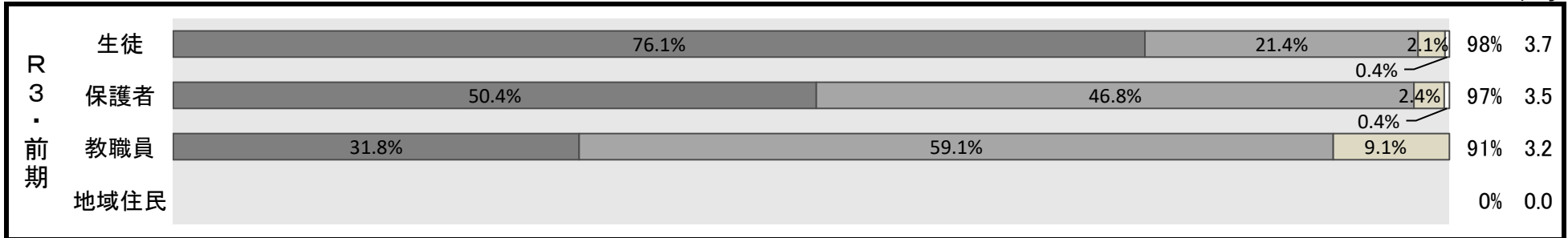
肯定的回答をした生徒の割合は9割以上と高い。昨年度の同時期である前期の結果と比較しても増減はないが、昨年度後期との比較では2ポイント減少している。引き続き、道徳教育の充実には欠かせない「納得解」を求めるための議論を、感染症対策を講じながら進めていきたい。

11 あなたは、友だちを大切にしている。

(生徒) あなたは、友だちを大切にしている。
 (保護者) お子様は、友だちを大切にしていると思う。
 (教職員) 生徒は、友だちを大切にしている。
 (地域住民) 0

■4 そう思う ■3 だいたいそう思う ■2 あまりそう思わない □1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

考察

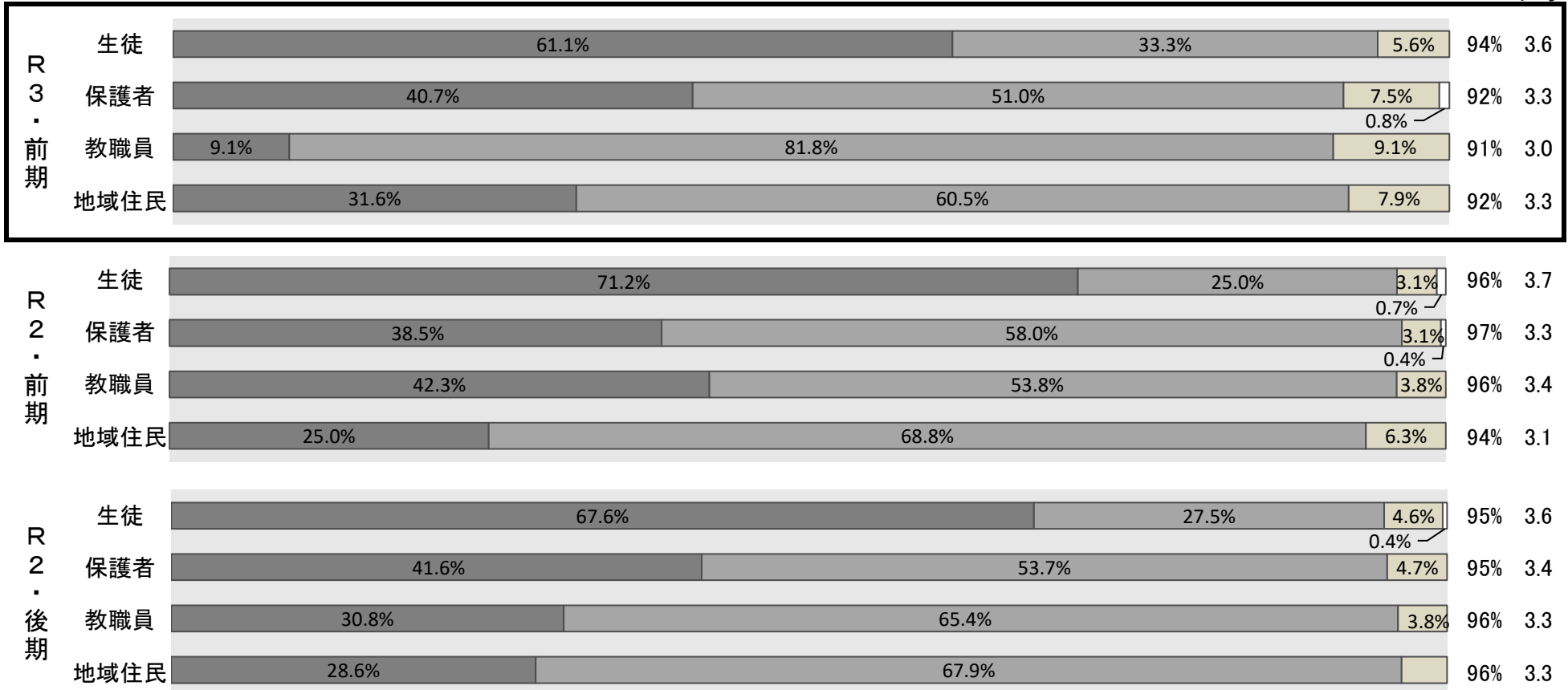
例年と同様に、生徒の肯定的割合は98%と高い。昨年度との比較でも大きな増減はない。全ての質問項目の中で最も高いポイントであることから、友達との関係づくりは、大人がとらえる以上に、生徒にとって今をよりよく生きる上で重要度が高いことが伺える。

12 あなたは、学校や授業の約束やマナーを大切に生活している。

(生徒) あなたは、学校や授業の約束やマナーを大切に生活している。
 (保護者) お子様は、学校のきまりや授業の約束、公共のマナーを大切に生活していると思う。
 (教職員) 生徒は、学校や授業の約束やマナーを大切に生活している。
 (地域住民) 生徒は、登下校の際に社会のマナーや交通ルールなどを守っていると思う。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

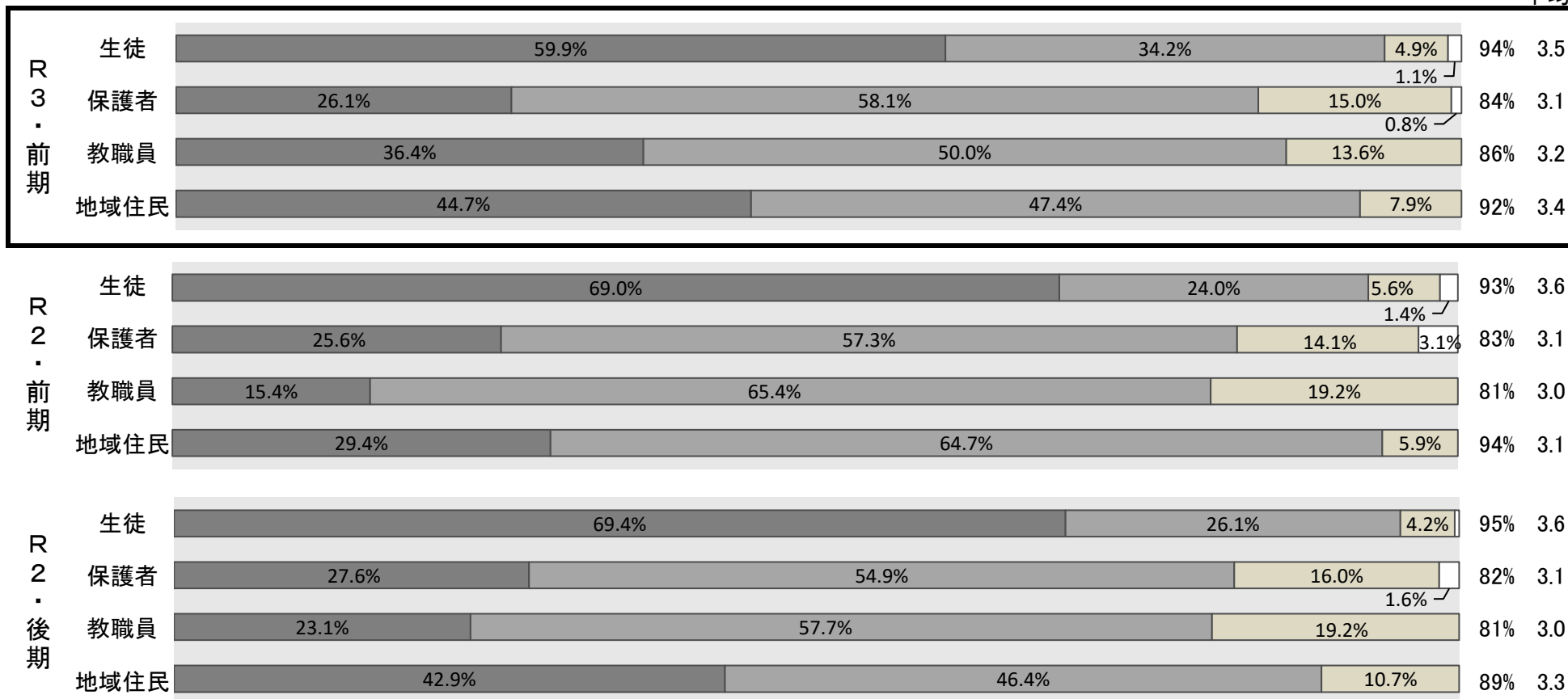
考察 肯定的回答をした生徒の割合は9割以上と高い。一方、昨年度と比較するとわずかであるが減少している。24の授業態度の結果と併せて考察すると、授業における学習規律の若干の乱れが結果に影響しているものと考え。教員の授業改善と生徒の学習改善に注力し、学びの実感が得られる授業づくりに取り組みたい。また、下校中の交通マナーの改善が十分でないため、地域住民からご意見をいただくこともあり、今後も引き続き、指導していきたい。

13 あなたは、学校や地域で明るい挨拶をしている。

(生徒) あなたは、学校や地域で明るい挨拶をしている。
 (保護者) お子様は、学校の内外で明るい挨拶をしていると思う。
 (教職員) 生徒は、学校や地域で明るい挨拶をしている。
 (地域住民) 生徒たちは、学校や地域で明るい挨拶をしている。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

考察 肯定的回答をした生徒の割合は9割以上と高い。昨年度後期の結果と比較すると1ポイント減少しているが、同時期である昨年度前期の結果と比較すると1ポイント増加している。また、肯定的回答の割合は、保護者や地域住民、教職員ともに昨年度と比較すると、増加傾向にある。挨拶は、保護者や地域住民にとって、最も生徒の様子が見えるものであるとともに、明るい地域づくりに貢献でき、「地域でめざす子ども像」にも挙げられていることから、引き続き、学校全体で力を入れて取り組んでいきたい。

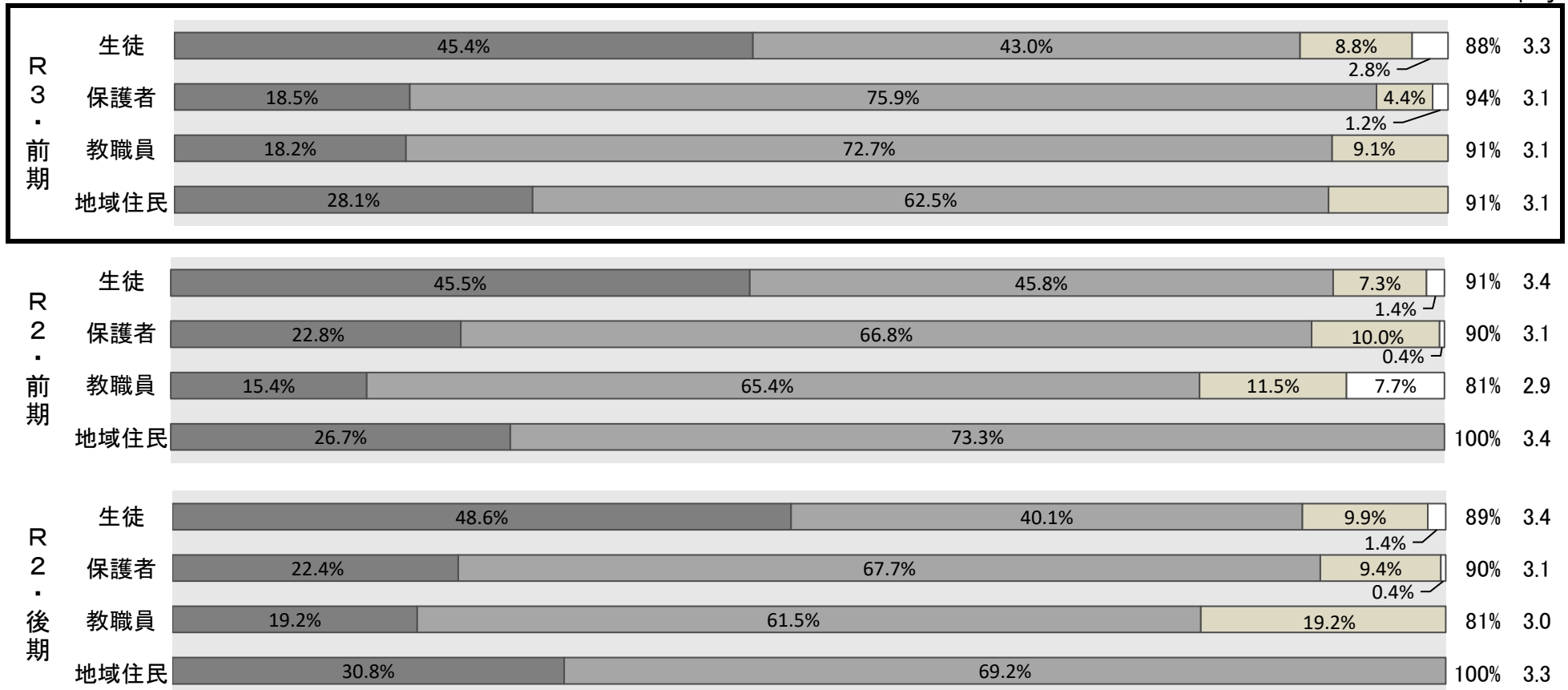
14

この学校は、掃除や環境整備が行き届いて、美しい環境がつけられていると思う。

(生徒) この学校は、掃除や環境整備が行き届いて、美しい環境がつけられていると思う。
 (保護者) この学校は、環境整備が行き届いて、美しい環境がつけられていると思う。
 (教職員) この学校は、掃除や環境整備が行き届いて、学びの場にふさわしい環境がつけられていると思う。
 (地域住民) この学校は、掃除や環境整備が行き届いて、美しい環境がつけられていると思う。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

考察

肯定的回答をした生徒の割合は9割近いものの、昨年度の結果と比較すると、減少傾向にある。一方、肯定的な回答をした保護者の割合は、昨年度の結果と比較すると、4ポイント増加している。夏休みに、地域の方や保護者の方の御協力環境整備を行うなど、校舎自体は古いですが、掃除や環境整備が行き届いている成果であろう。

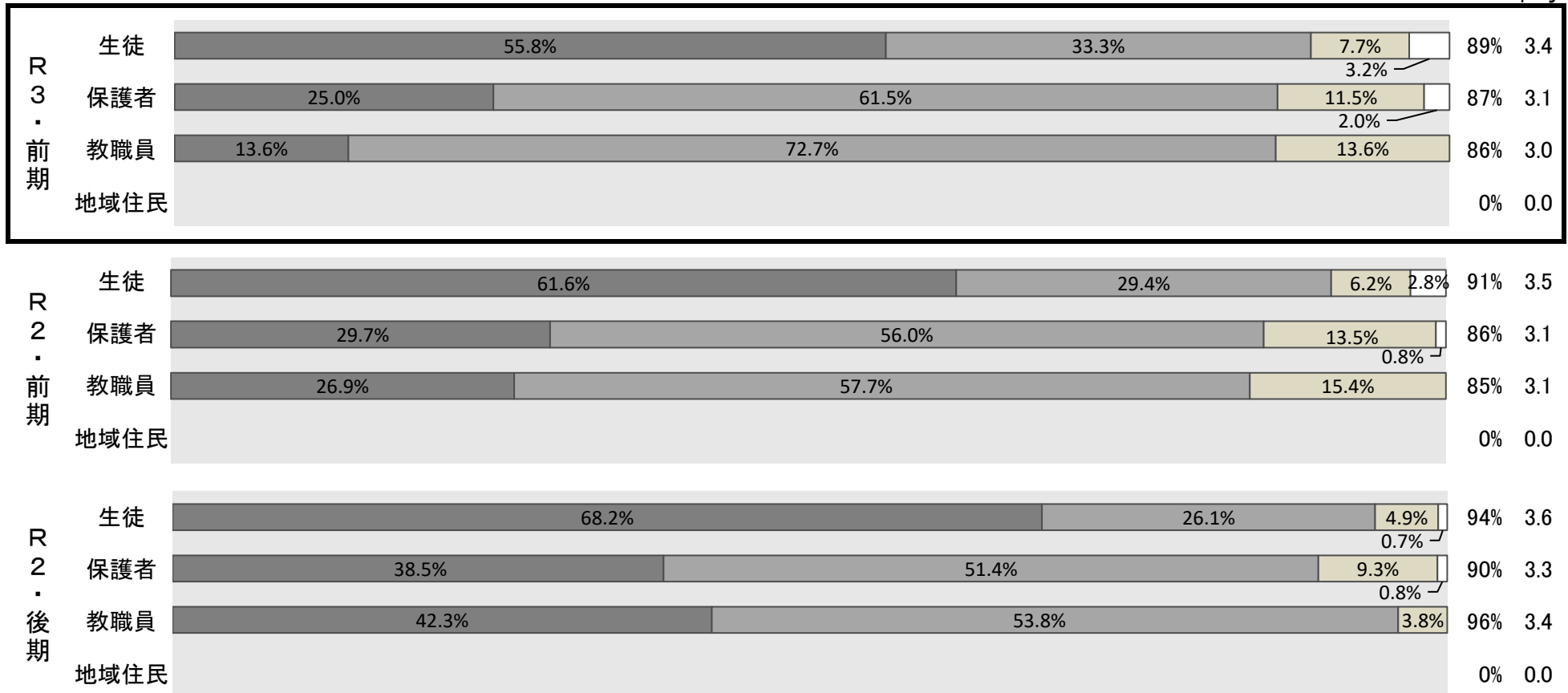
15

あなたは、学級の活動で、仲間と協力して最後までやり遂げてうれしかったことがある。

(生徒) あなたは、学級の活動で、仲間と協力して最後までやり遂げてうれしかったことがある。
 (保護者) お子様は、学級の活動で仲間と協力して物事を成し遂げる達成感を味わったことがあると思う。
 (教職員) 生徒は、学級の活動で、仲間と協力して最後までやり遂げてうれしかったことがあると思う。
 (地域住民) 0

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

考察

肯定的回答をした生徒の割合は9割近いものの、昨年度の結果と比較すると、減少している。コロナ禍で、生徒会活動が制限される中、2学期は、大きな達成感を得ることができる体育大会や文化祭などの学校行事が、感染症対策を講じながらも、実施されることから、昨年度同様、肯定的な回答をする生徒の割合が後期(12月)で増加することが期待される。

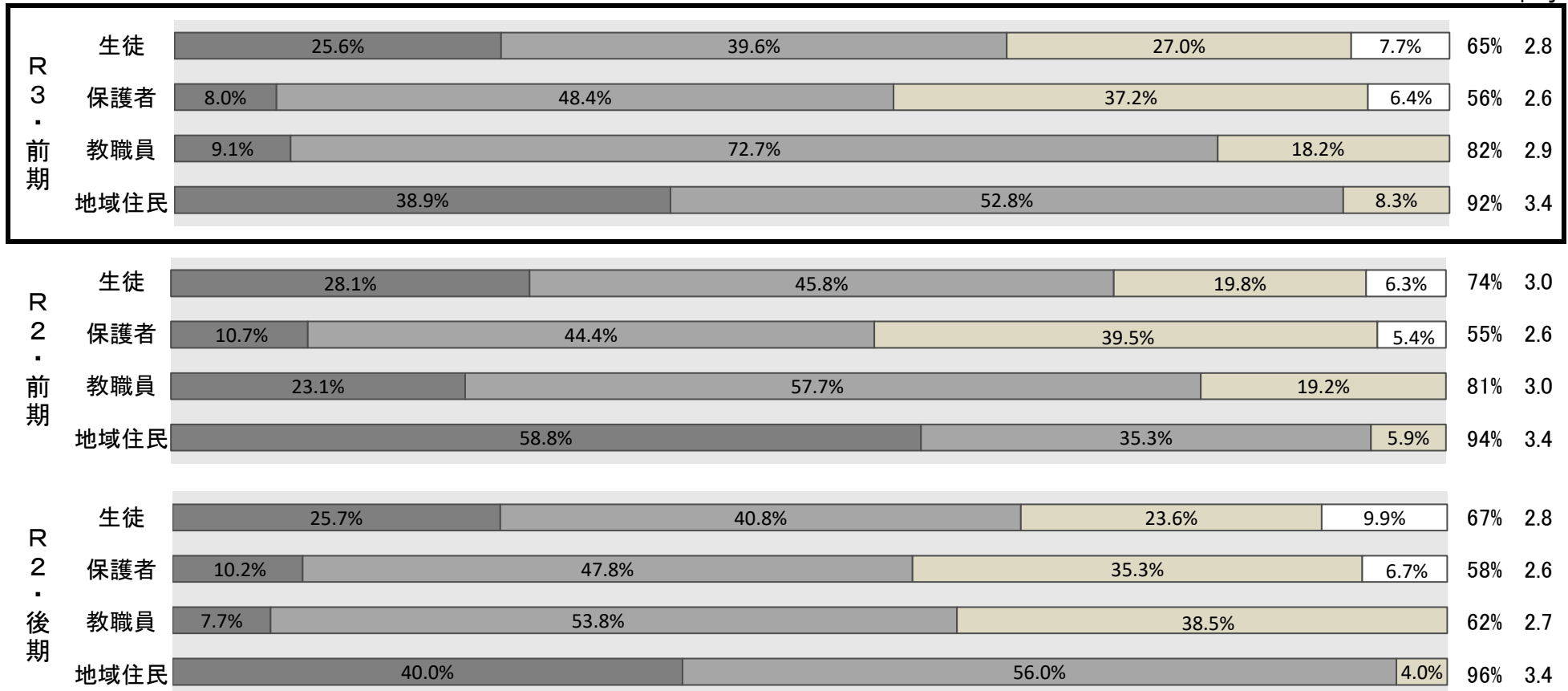
16

あなたは、地域行事やボランティア活動に参加して、成長していると思う。

(生徒) あなたは、地域行事やボランティア活動に参加して、成長していると思う。
 (保護者) お子様は、地域行事やボランティア活動に参加して、成長していると思う。
 (教職員) 本校の生徒は、地域行事やボランティア活動に参加して、成長していると思う。
 (地域住民) 生徒たちは、地域行事やボランティア活動に参加して、成長していると思う。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

考察

昨年度と比較すると、肯定的回答をした生徒の割合は減少している。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、相次ぐ地域行事の開催中止により、生徒が地域に出て地域住民と交流したり、貢献したりするといった活動ができていない結果であろう。今後、コロナ禍における新たな形での地域交流・地域貢献について模索していきたい。

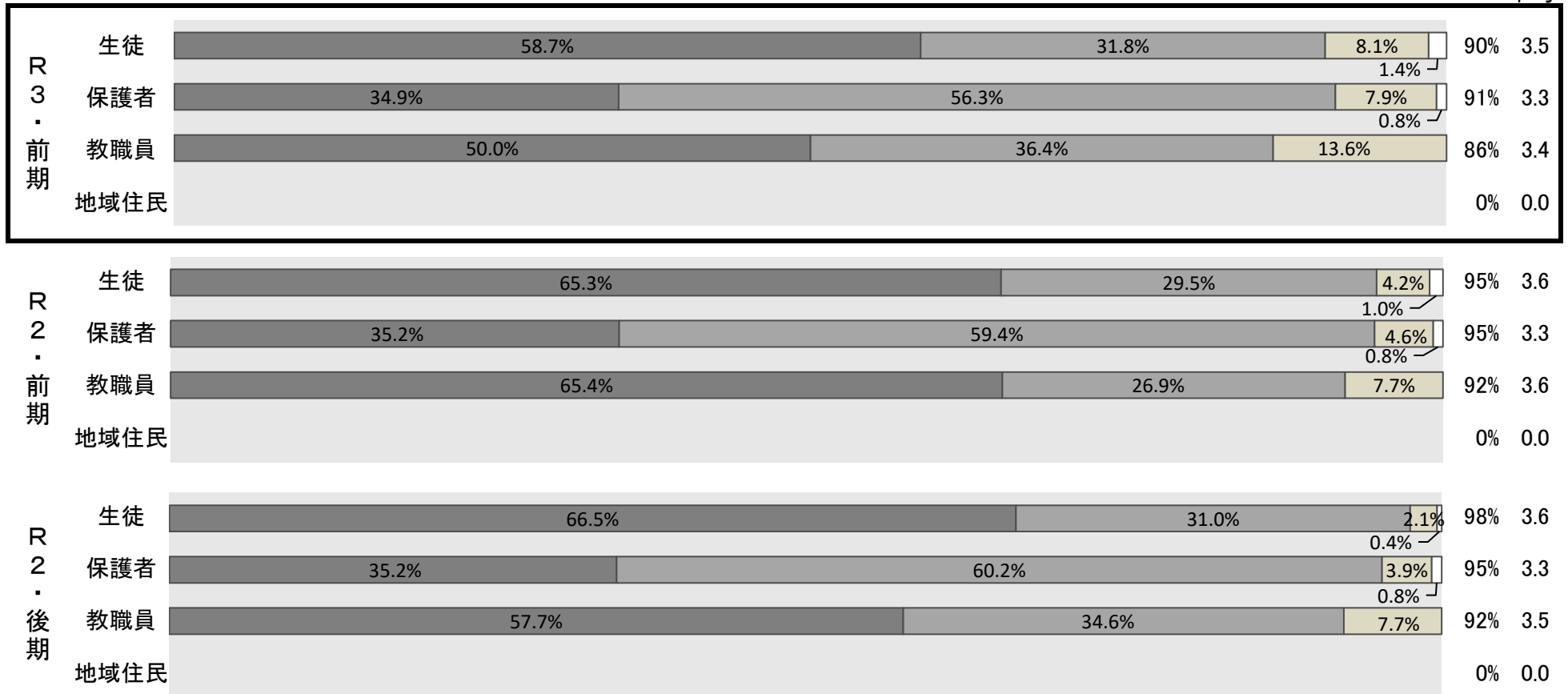
17

学校は、生徒が安全な生活が送れるように、校舎内外の安全管理や登下校の安全指導に努めていると思う。

(生徒) 学校は、生徒が安全な生活が送れるように、校舎内外の安全管理や登下校の安全指導に努めていると思う。
 (保護者) 学校は、生徒が安全な生活が送れるように校舎内外の安全管理や登下校の安全指導に努めていると思う。
 (教職員) 学校は、生徒が安全な生活が送られるように校舎内外の安全管理や登下校の安全指導に努めていると思う。
 (地域住民) 0

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

考察

肯定的回答をした生徒の割合は9割以上と高い。一方、昨年度と比較すると減少している。朝の出迎えや帰りの見送りを始め、地域からいただいた御意見にもスピード感をもって対応しているものの、教職員の「そう思う」が減少するなど、改善の余地があることは否めない。新型コロナウイルス感染症防止対策について、形骸化することなく、引き続き、気を引き締めて実施するとともに、交通安全・校舎の老朽化に対する安全管理に積極的に取り組んでいく。

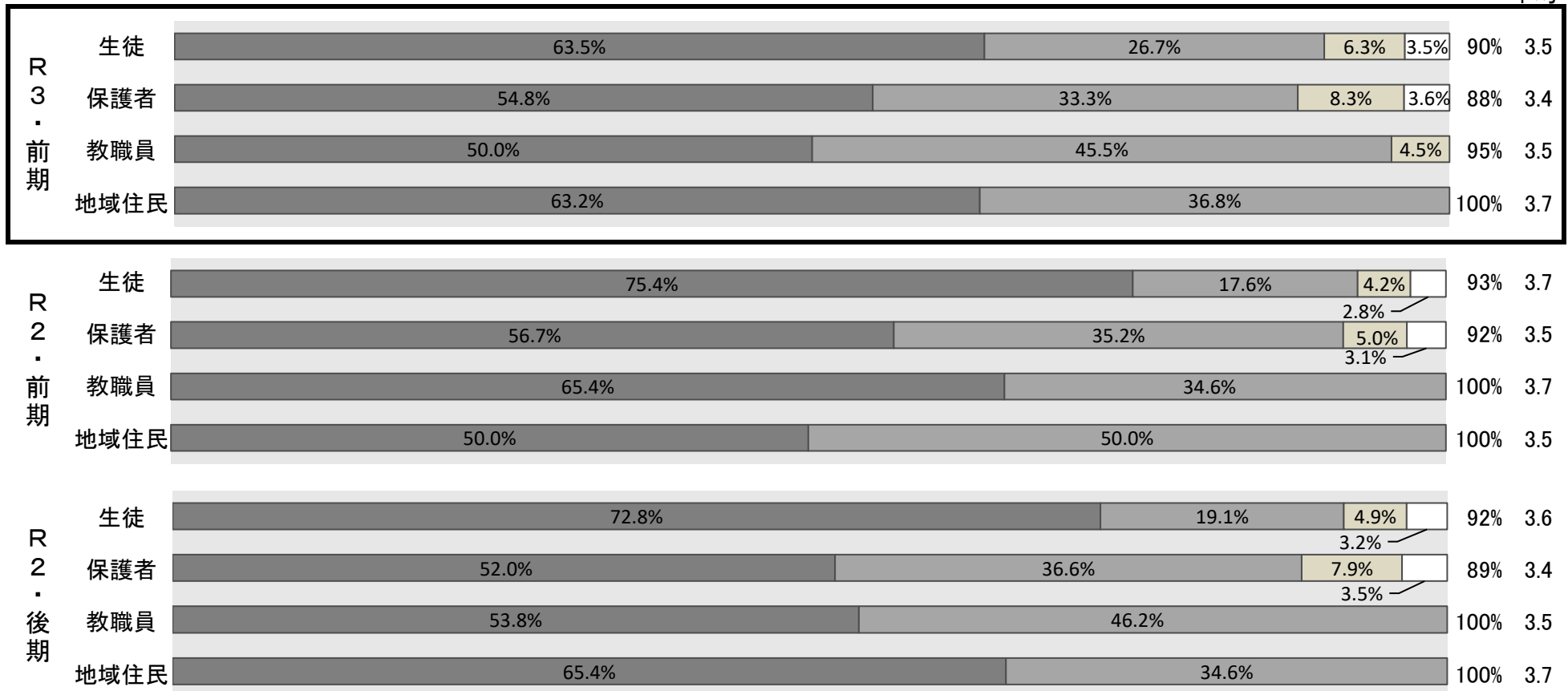
18

あなたは、部活動(社会体育等も含む)に積極的に参加し、充実した活動をしている。

(生徒) あなたは、部活動(社会体育等も含む)に積極的に参加し、充実した活動をしている。
 (保護者) お子様は、部活動(社会体育等も含む)に積極的に参加し、充実した活動をしていると思う。
 (教職員) 生徒は、部活動(社会体育等も含む)に積極的に参加し、充実した活動をしている。
 (地域住民) 生徒は、部活動(社会体育等も含む)に積極的に参加し、充実した活動をしていると思う。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

考察

肯定的回答をした生徒の割合は9割以上と高い。一方、昨年度と比較すると、肯定的回答をした生徒の割合は減少している。新型コロナウイルス感染症防止対策による大会やコンクールの縮小、練習試合などの活動の制限が大きく影響しているものと思われる。大会結果としては、県大会はもとより、全国大会・中国大会に出場した生徒も多くいることから、「もっと活動したい」という気持ちが出したものであると考える。

19

学校は、授業参観や学校行事の公開、学校だより、学年・学校通信、ホームページなどで学校や生徒の様子がよく分かるようにしていると思う。

(生徒) 0

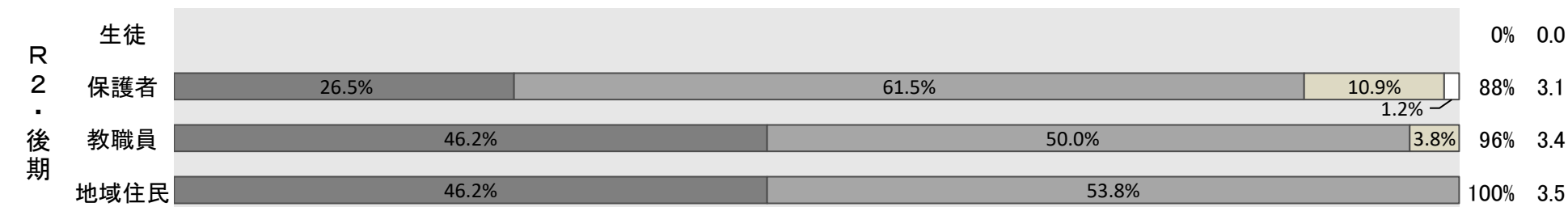
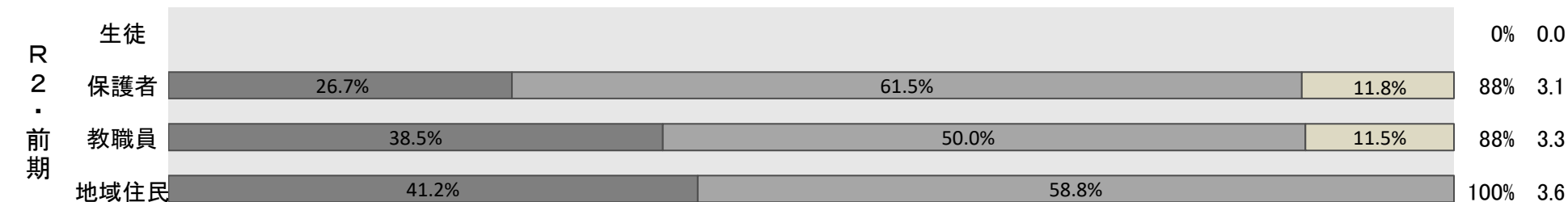
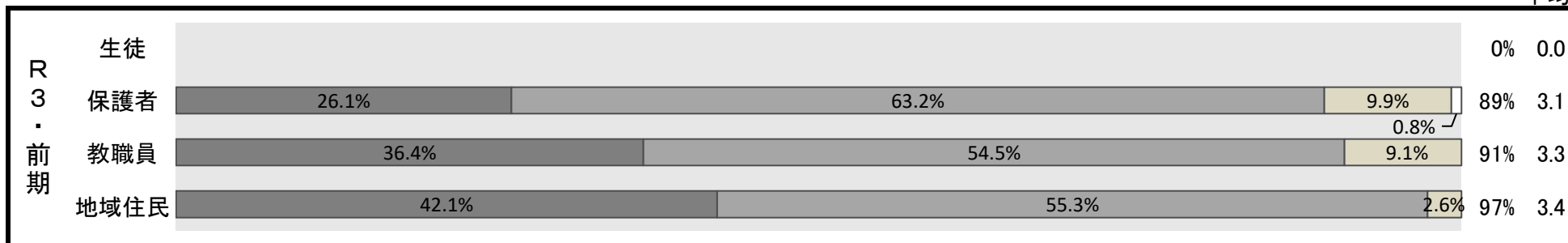
(保護者) 学校は、授業参観や学校行事の公開、学校だより、学年・学校通信、ホームページなどで学校や生徒の様子がよく分かるようにしていると思う。

(教職員) 学校は、授業参観や学校行事の公開、学校だより、学年・学校通信、ホームページなどで学校や生徒の様子がよく分かるようにしていると思う。

(地域住民) 学校は、授業参観や学校行事の公開、学校だより、ホームページなどで学校や生徒の様子がよく分かるようにしている。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

考察

肯定的回答をした保護者の割合は9割近い。昨年度と比較すると、肯定的回答をした保護者の割合は1ポイント増加している。新型コロナウイルス感染症防止対策のために、授業参観や学校行事、PTA行事を中止・縮小する中、このような評価となったことは、今年度、注力しているホームページの更新をはじめ、学校だよりや学年・学級通信で積極的に情報発信している成果と捉えている。

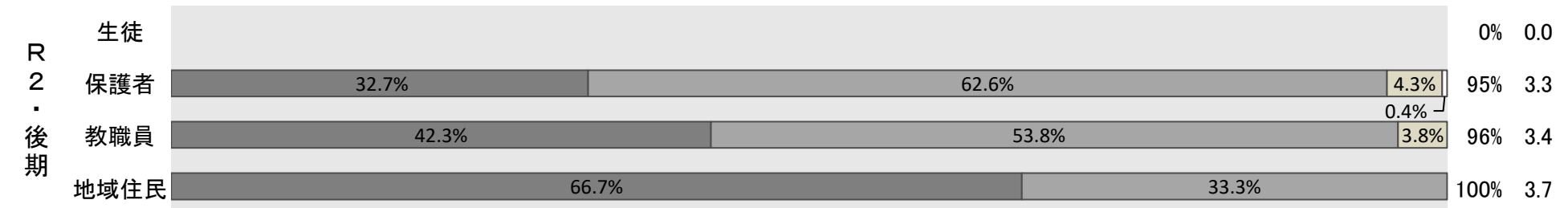
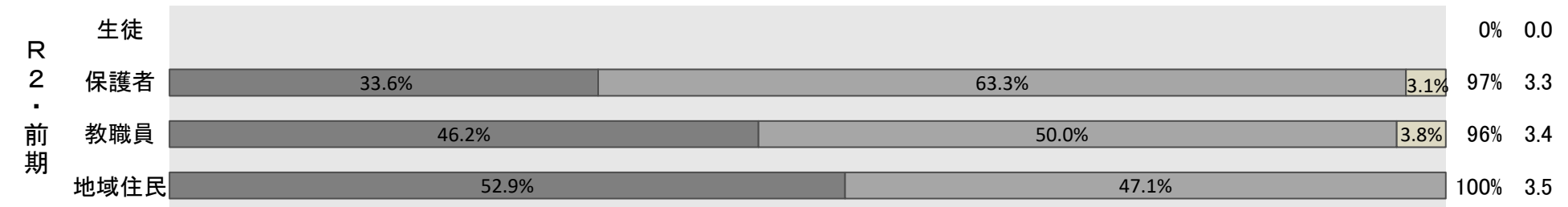
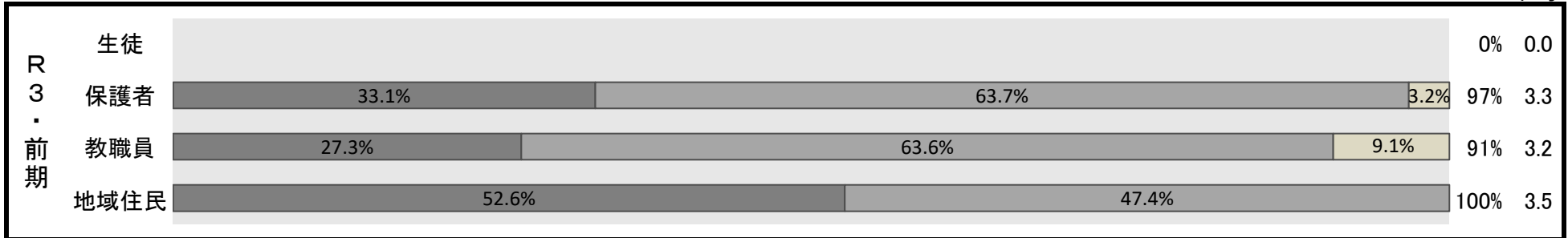
20 教職員は、PTAや地域行事に理解があり、協力的である。

(生徒) 0

(保護者) 教職員は、PTAや地域行事に理解があり、協力的である。
 (教職員) 教職員は、PTAや地域行事に理解があり、協力的である。
 (地域住民) 教職員や生徒は地域行事に理解があり、協力的である。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

考察

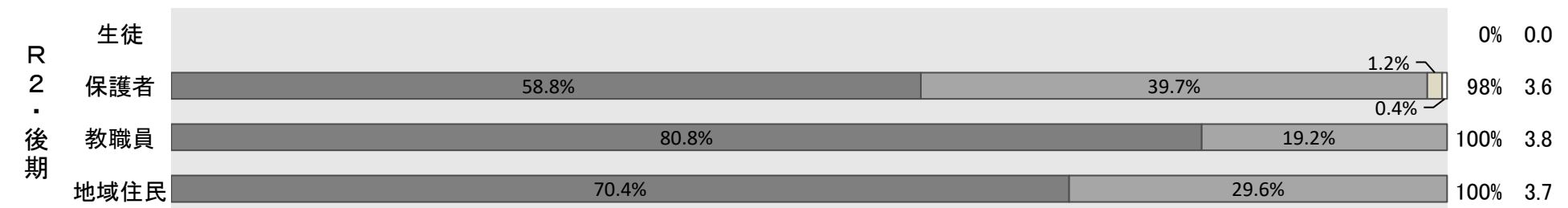
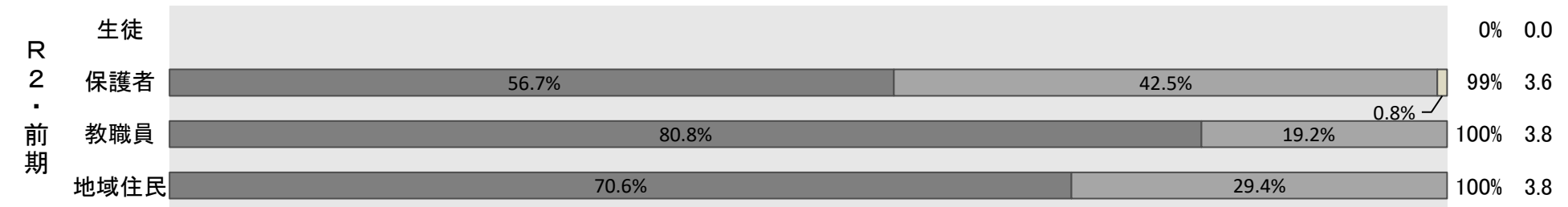
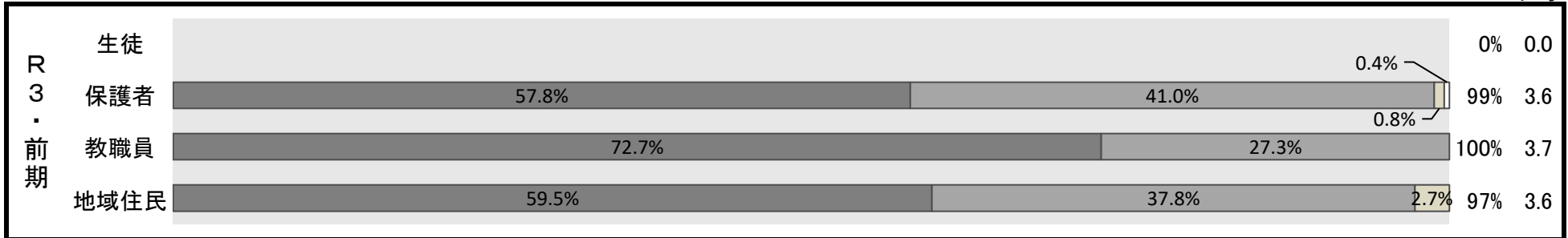
肯定的回答をした保護者の割合は9割以上と高い。昨年度後期(12月)と比較すると、肯定的回答をした保護者の割合は2ポイント増加している。新型コロナウイルス感染症防止対策により、PTA行事や地域行事をが中止・縮小される中、このような評価となったことは、日頃から交わす挨拶をはじめ、朝の挨拶運動や地域応援メッセージボードなど、地道な活動の成果だと捉えている。

21 教職員は、来校者や電話等、親切で丁寧な対応をしていると思う。

(生徒) 0
 (保護者) 教職員は、来校者や電話等、親切で丁寧な対応をしていると思う。
 (教職員) 教職員は、来校者や電話等、親切で丁寧な対応をしていると思う。
 (地域住民) 教職員は、来校者や電話等、親切で丁寧な対応をしている。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

考察

昨年度に引き続き、99%以上の保護者が肯定的回答をしており、本校教職員が日頃から心がけていることが数値に表れていると考えている。一方、否定的回答が1名でもいることを真摯に受け止め、100%の肯定的回答及び「そう思う」と回答した割合の増加をめざし、引き続き取り組みたい。

22

学校の人権教育や性教育、進路学習、特別活動(体育大会等を含む)などの取組は充実していると思う。

(生徒) 0

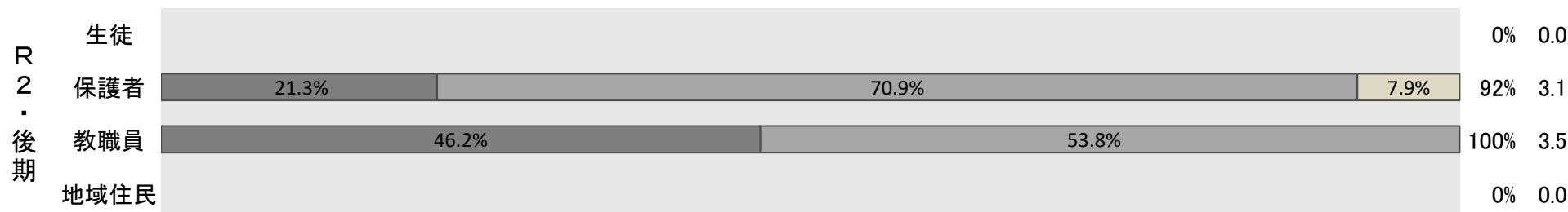
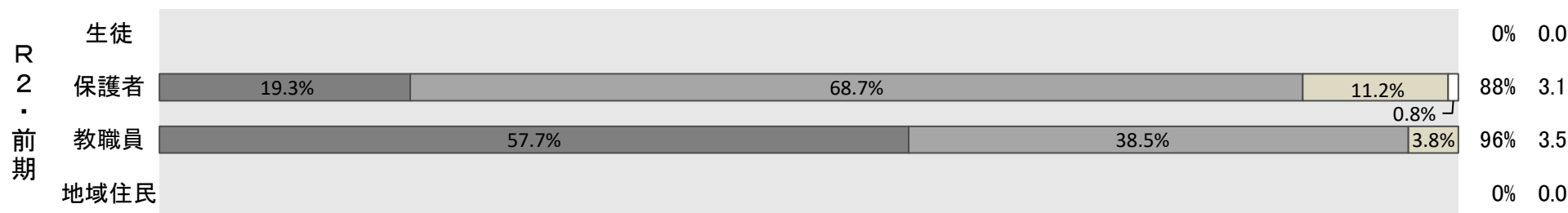
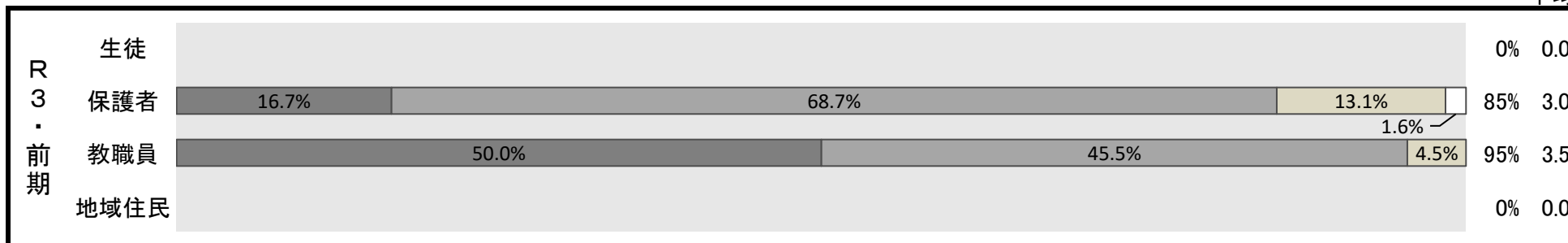
(保護者) 学校の人権教育や性教育、進路学習、特別活動(体育大会等を含む)などの取組は充実していると思う。

(教職員) 学校は、人権教育や性教育、進路学習、特別活動(体育大会等を含む)などに計画的に取り組んでいる。

(地域住民) 0

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

考察

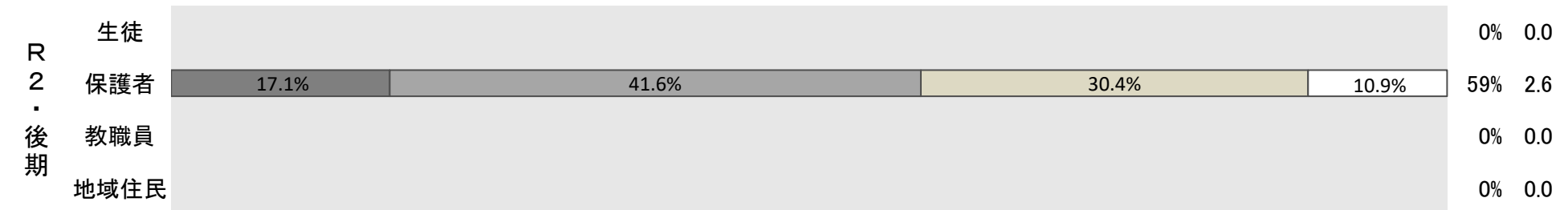
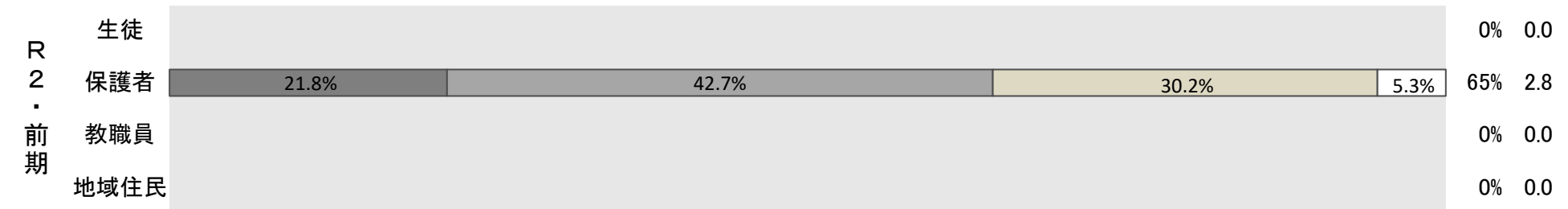
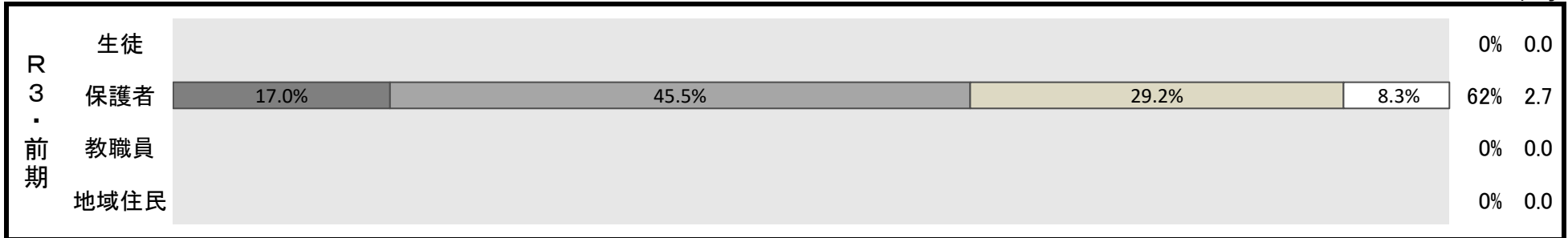
肯定的回答をした生徒の割合は8割を超えているものの、昨年度と比較すると、肯定的回答をした保護者の割合は減少している。新型コロナウイルス感染症防止対策として、昨年度に引き続き、人権教育参観日や職場体験学習などの相次ぐ中止が影響していると考えられる。後期は、体育大会をはじめ、文化祭と参観日を実施する予定としており、昨年度同様、ポイントの増加が期待できる。

23 お子様は、家庭学習にしっかりと取り組んでいると思う。

(生徒) 0
 (保護者) お子様は、家庭学習にしっかりと取り組んでいると思う。
 (教職員) 0
 (地域住民) 0

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

考察 昨年度後期(12月)と比較すると、肯定的回答をした保護者の割合は3ポイント増加している。また、「そう思わない」と回答した保護者の割合も減少している。コロナ禍により、臨時休校など予測困難であった昨年度当初から1年が過ぎ、ようやく、この状況にも慣れてきて、家庭学習のペースがつかめてきたのが要因ではないかと考える。一方、4割の否定的回答につながっている生徒の実態に向き合いながら、今後も家庭と連携しながら家庭での学習習慣が身に付くよう、学校としてできる働きかけについて検討したい。

24

お子様は、落ち着いた雰囲気の中で授業が受けられると言っている。

(生徒) 0

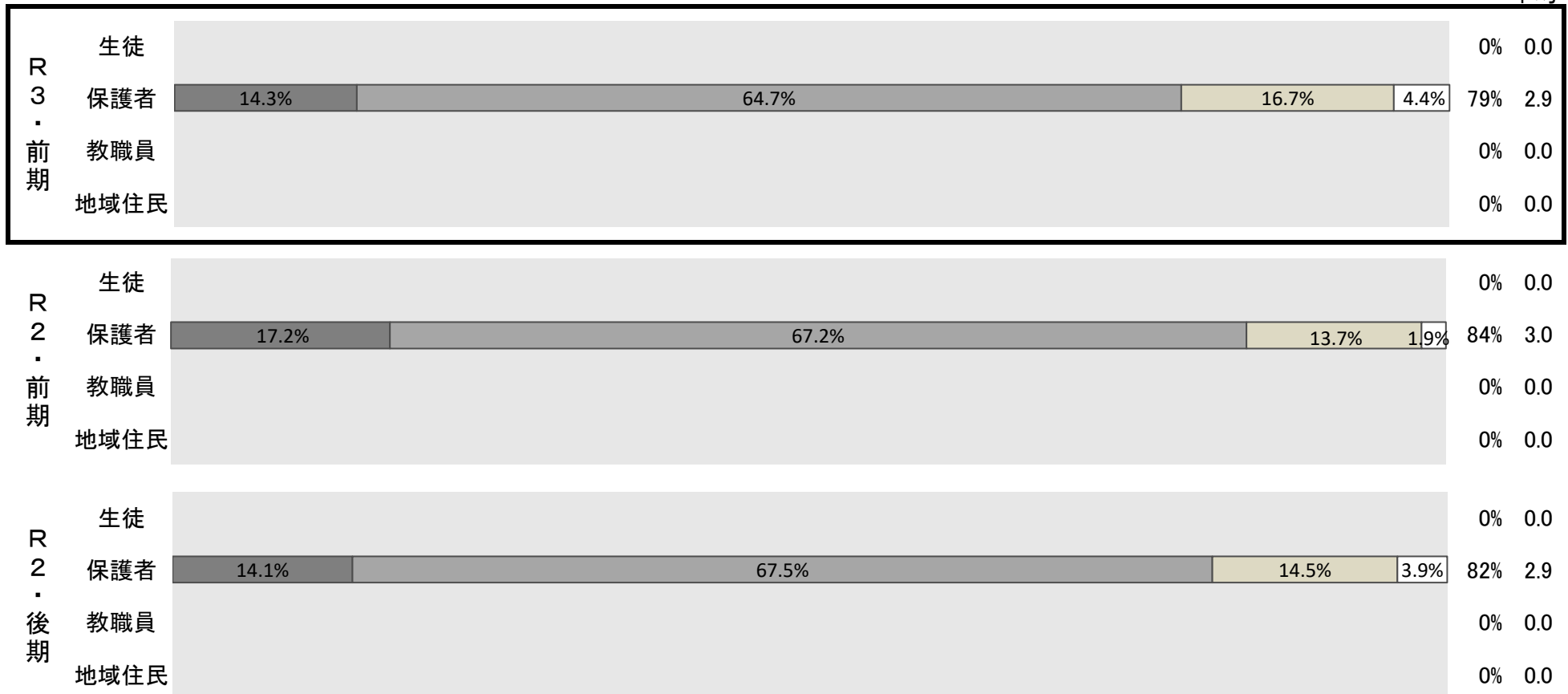
(保護者) お子様は、落ち着いた雰囲気の中で授業が受けられると言っている。

(教職員) 0

(地域住民) 0

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない □ 1 そう思わない

肯定的回答 平均



前期7月 後期12月

考察

肯定的回答をした保護者の割合は8割近いものの、昨年度と比較すると、減少傾向にある。生徒指導面での落ち着きが、学習面における授業での落ち着きにつながっており、その結果、8割近い肯定的回答を得ていると考えられる。一方、2割の否定的回答について、真摯に受け止めるとともに、対策を講じることが急務である。引き続き、100%の肯定的回答をめざし、校訓「勸学」のもと、生徒一人ひとりの「わかる」・「できる」を大切にしたい授業づくりに努めていきたい。